

## •報告

秋学期も終わり、冬期の休みを利用して見聞を広める為に旅行にでました。留学中使用できる金額にも限りがあるため、イリノイから比較的近く有名な所でニアガラの滝とトロントへの旅を計画しました。報告書では旅を通して感じた日本について書く。

目的地へはハイウェイを利用して行きました。日本では、アメリカのハイウェイを比較にだして高速道路の無料化を進めようとする団体があります。私は実際にハイウェイを利用して日本での無料化について考えました。まず旅の全行程を通して1000Km近く走行しましたがトンネルと高架をほぼ利用しませんでした。一方日本では高速道路と言えば高架もしくはトンネルを利用します。そう、日本とアメリカでは高速道路建造時にかかる費用に大きく差があります。またトンネル、高架ともに維持費が普通の道路よりもかかります。これは私が旅で感じた事でした。実際に調べてみるとこのような記述がありました「高速道路のトンネルや橋梁高架率は日本 20%、米 5%、独 3%、

仏 1%、日本の事業費は他国の 10 倍かかるともいわれる。」<sup>\*1</sup>しかし、一方で民主党は無料化を政策の一つに上げています。<sup>\*2</sup>民主党もアメリカのハイウェイを比較としてだし無料化は可能であると考えています。民主党は地域の経済活性化によりペイできると考えていますが政策では高速道路の出入り口を増設するだとか、流通コストが下がる事により活性化するとは書かれていません。政府が出入り口を増やしても工場を誘致したり、観光地を整備したりするのは地域です、私は地域にその費用が捻出できるとは考えられません。管理費は無料化問題の一部でしかありませんがハイウェイを利用する事で少し高速道路について考える事ができました。

次に国というくりについてです。カナダへの旅行ということで陸路で国境を越えました。国境に来るまでの想像では、国境は厳重に管理されていて持ち物検査など入念に行われると思っていました。実際に初のアメリカ入国時、空港では検査が入念に行われました。しかし今回国境ではアメリカからカナダへ入る時は車を止めて5分ほどの車内検査が行われたのみでアメリカに戻る際は日本の高速道路の料金所と同じ感覚で通過できました。現在グローバル化が進み国外へ出る事は、珍しい事ではありません。しかし日本では地続きで簡単に入国できる国がないためやはり他の国の人とは外国に行く事への感覚がやはり大きく違います。国際的な感覚を日本にいる状態で身につける事の難しさを改めて感じました。

最後に授業に関して、秋学期はミッドターム期間に体調を崩し最後までその時に崩したりズムを取り戻せませんでした。またグループワークを2つ選択した事も問題となりました。最終的に自分の学びたい事、見たい事は得る事が出来ました。来月から始まる授業でも自分のとりたい授業をとるつもりですが、少しとり方を見直したいと思いました。

## 参考

- \* 1 北村正二 <http://homepage2.nifty.com/kitayan/>
- \* 2 民主党「高速道路無料化」政策に関する Q&A  
<http://www.eda-jp.com/dpj/2003/highway-qa.html>